



岡山シティミュージアム 令和7年度企画展

広がる大地

— 絵図でたどる児島湾のかんたく —

2026

2.14^土 - 3.29^日

開館時間 10:00-18:00(最終入場は17:30)

休館日 毎週月曜日(ただし、2月23日は開館し、翌24日が休館)

会場 岡山シティミュージアム4階企画展示室

入場料 一般310円(250円)/高校生・大学生210円(160円)/中学生以下無料
常設展「してみゆ〜で発見!岡山の魅力!2026年春」(5階常設展示室3/15まで)も併せてご覧いただけます。チケット半券をご提示ください。

※()内は20名以上の団体料金

※以下の方は免除になります ○65歳以上の方(年齢を確認できるものの提示が必要です)○身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療受給者証、心身障害者医療費受給資格者証、特定疾患医療受給者証、特定医療費(指定難病)受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証または介護保険被保険者証を有する人とその介護者1名(それぞれの身体障害者手帳等または障害者手帳アプリ「ミライロID」の提示が必要です)

岡山南部に広がる岡山平野は、かつて、島々が浮かぶ「吉備の穴海」と呼ばれた海でした。戦国時代から、岡山の人々は海を干し、農地に変える「干拓」により、二万ヘクタールの大地を生み出したのです。

初公開!当館所蔵
旧妹尾支所資料群



児島湾開墾第一区第一号干拓堤防



芥子山から



奉還樋門から

広がる大地

—絵図でたどる児島湾のかんたく—

干拓によってできた景観は、岡山の大きな特徴です。この展覧会では、児島湾周辺の土地が広がりにくく様子を、絵図を通してご覧いただけます。

岡山大学図書館の「池田家文庫」や岡山市立図書館の資料のほか、岡山シティミュージアム所蔵の「旧妹尾支所資料群」の一部を初公開します。

土地を広げることにささげた岡山人の情熱、そして人間の欲求を、改めて考えてみたいと思います。

展示内容

開墾が進む前の児島湾周辺



備前国九郡絵図
寛永15年(1638)頃
岡山大学図書館「池田家文庫」

上道郡の開発



沖新田東西之図(市指定文化財)
文政元年(1818)12月
岡山市立図書館

興除新田の開発



(興除新田開発目論見略図)
岡山大学図書館「池田家文庫」



用水を走る! ▼上道郡倉安川絵図 安政3年(1856)4月 岡山大学図書館「池田家文庫」(実寸大複製展示)



百間川せせらぎ広場



泉水樋門



旭川(倉安川排水樋門)



倉安川



吉井水門(県指定史跡)



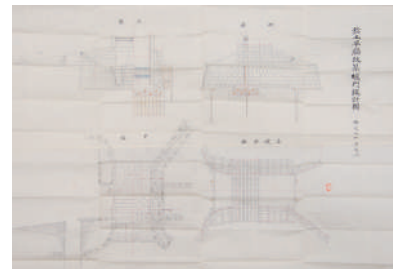
初公開!旧妹尾支所資料群 岡山シティミュージアム



(児島海御新開地用水路絵図)
文政5年(1822)12月



(児島干潟新開地悪水抜普請絵図)
文政6年(1823)3月



弥五平脇改築樋門設計図

関連行事①

「かんたく」を深掘りする講座

場所 | 4階講義室

定員 | 各回先着70名

時間 | 14:00-15:30(終了時間は前後することがあります)

参加無料

電話での
事前申込

3.8

日曜日

「大地がひろがる前のお話
—備前と備中の100年戦争—」

講師: 定兼学さん(山陽学園大学特任教授)

申込: 2月10日(火)から電話で受け付けます

3.21

土曜日

「先人たちはどのようにして大地を広げてきたのか?—その技術と歴史に迫る!」

講師: 樋口輝久さん(岡山大学学術研究院
環境生命自然科学学域准教授)

申込: 2月24日(火)から電話で受け付けます

関連行事②

みんなで「かんたく展」を観よう

学芸員といっしょに、展示を観て語りましょう。

場所 | 4階企画展示室

時間 | いずれも 11:00から30分程
(終了時間は前後することがあります)

要入場料
申込不要

2.14

土曜日

3.1

日曜日

3.28

土曜日

展覧会情報はホームページからご覧いただけます▶



岡山シティミュージアム

〒700-0024 岡山市北区駅元町15-1 リットシティビル南棟4・5階

(JR岡山駅西口からすぐ・東西連絡通路直結)

TEL 086-898-3000(10:00-18:00/休館日を除く)

URL <https://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/>

申し込み電話番号 **086-898-3000** (10:00-18:00
休館日を除く)

お名前・電話番号・参加したい講座をお知らせください。